

ボトム・カスタムを楽しむ



20インチ化することでスポーク部が長くなり、より滑らかな形状となったMK-66。ディスクのカラーはグロスブラックとマッドブラックの中間となるサテンブラックを採用。独特の雰囲気を醸し出しているのも特徴だ。

MK-66				●付属品:センターキャップ、エアバルブ ●仕様:1ピース(JWL/JWL-T ★=860kg適合)	
Size	Inset	P.C.D	Hole	Color	Price(税別)
16×70J	+42	114.3	5	Milled Satin Black (ミルド サテンブラック)	¥40,000
17×70J	+45	100			¥47,000
		114.3			¥47,000
		127			¥47,000
17×80J	+20	139.7	6		¥48,000
20×8.5J	+20	139.7	6		¥62,000
	0	150★	5		
	+35				



今回 MK-66 を装着した 2014 年型のタンデラは、フロントを3インチ、リアを1.5インチリフトアップし、プッシュワーカーのポケットスタイル・オーバーフェンダーを纏った仕様。タイヤはミックストンソンの BAJA MTZ (305/55R20) とコンビネーションする。2014 年モデルからタンデラはフロントマスクはアグレッシブに、対してボディ形状はシャープになったが、それがより一層 MK-66 とのマッチングを強めている。

Special Thanks ● アップルさいたま岩槻店
TEL ● 048-797-2700 URL ● <http://www.flexdream.jp/us-toyota/apple/saitama-iwatsuki/>

シンプルだからこそ際立つ 20" の輝き

PHOTO 浅井岳男
TEXT 空野 稜



トリスター・インターナショナル
TEL ● 03-3779-5131 URL ● <http://www.mkw-japan.com>

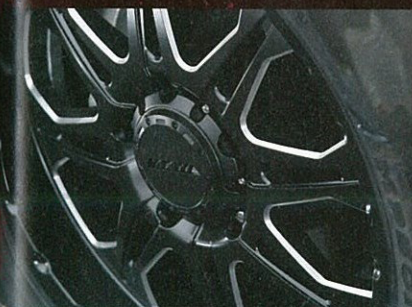
MKW OFFROAD

近頃

頃のヨコ用ホイールを彩るキーワードとして、マットブラックやリムにあしらわれたボルトなどが即座に浮かぶ。その先鞭をつけたのは他ならぬ MKW だが、最新モデルの MK-66 は、あえて華やかな装飾類を廃した、シンプルなスタイルが特徴だ。通称「Dウインドー」と呼ばれるオーソドックスな8スポークのデザインを採用。スポークの中央をくり抜くことで、デザイン的に立体感を強調しつつ、機能面では軽量化を図る。前述したように後付けパーツ類での華飾を施さず、ポイントとなるのは、各部のエッジを削り出したミリング加工のみ。にもかかわらず、線だけで構成されたとは思えないほど立体感に富

んだ形状となっている。リム部分には半円状のディンプル加工により、上品さや力強さといった、相反する二面性を持ち合わせている。そんな MK-66 のもう一つの特徴は、豊富なサイズバリエーション。各4WD&SUUVが純正のまま履ける16/17インチに加え20インチも設定し、PCD150・5Hもラインアップ。今回は2014年型のタンデラに組み合わせた。シンプルだが、タフなイメージを見事に強調させている。パーツが少ないと悩む逆車オーナーは多いが、MKWならそんな悩みもきつと解消してくれる。もちろん、サイズ的にはランドクルーザー200/100系での装着も可能だ。

シンプルなDウインドーにキラメキを！



リム部分にディンプル加工を施し、個性的なスタイルを実現。もちろん JWL と JWL-T 規格を取得しており、そのまま車検に対応。限定荷重の860kgもクリアしているため、ランクル200の最上級グレード ZX にも装着できる。

MKW の他のモデルと異なり、センターキャップのロゴはくり抜いて表現。スポークのミリング加工とも相まって、より一層シャープな印象となっている。力強さも気品も手に入れるなら、MK-66 で決まりだ。

